

竹の整備と利用を考えるシンポジウム 開催要領

- ◆テーマ 森林（竹林）と海とのつながり ～豊かな森林（竹林）が育む豊穡の海～
- ◆趣 旨 京都府中丹地域（福知山市・舞鶴市・綾部市）は、府内の中でも竹林面積が多く、竹林は、これまでから竹材やたけのこ生産のために利用されてきました。
しかし、たけのこや竹製品の輸入量の増大や代替材の普及、生産者の減少、高齢化等により、放置竹林の拡大や森林の竹林化による森林植生の多様性の喪失など、様々な問題が生じてきています。
豊かな森林は、水資源のかん養や土砂流失防止など、私たちの暮らしを支えてくれる様々な機能を発揮していますが、その豊かな恵みは、川を通じて豊穡の海へとつながっていることから、森林（竹林）が抱える様々な問題を解決していくためには、「森林（竹林）と海とのつながり」という視点で、森林（竹林）問題を考えていく必要があります。
今回、「豊かな森林（竹林）が育む豊穡の海」をサブテーマに、森林（竹林）と海とのつながりを知り、私たちの身近な森林（竹林）とどのように関わるべきかを、森林（竹林）と海をフィールドに活動する若者や地域の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。
- ◆日 時 平成25年2月2日（土） 13時から17時15分まで
- ◆場 所 京都府立舞鶴勤労者福祉会館 多目的ホール（舞鶴市南田辺1番地）
- ◆日 程（「基調講演」と「事例報告」終了後に「休憩時間（10～15分程度）」を設定）
- 12:30～13:00 受付
- 13:00～13:15 開会あいさつ、日程説明
- 13:15～14:30 基調講演「竹の概要(材料特性や植生)と研究開発の現状」
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 古田 裕三 准教授（京都府参与）
- 14:30～16:00 事例報告
- ①「海から見た森林 ―海と森林とのつながり―」
京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所 益田 玲爾 准教授
- ②「栗田の海からの報告～里海づくり第Ⅱ章 アマモで拓く世界遺産への道」
京都府立海洋高等学校海洋技術コース3年
坪井 千明さん、壺内 章矢さん、長谷川 浩平さん、宮本 沙紀さん
- ③「森林ボランティアサークル森なかまの竹林整備（仮題）」
京都府立大学森林ボランティアサークル森なかま竹林整備担当 松田 桃佳さん
- 16:00～17:10 パネルディスカッション「森林（竹林）と海とのつながり」
コーディネーター 川勝 邦夫 氏（国立舞鶴工業高等専門学校 名誉教授）
パネラー 益田 玲爾 氏（京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所 准教授）
古田 裕三 氏（京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授（京都府参与））
坪井 千明さん、壺内 章矢さん、長谷川 浩平さん、宮本 沙紀さん
（京都府立海洋高等学校海洋技術コース3年）
松田 桃佳さん（京都府立大学森林ボランティアサークル森なかま竹林整備担当）
- 17:10～17:15 閉会あいさつ
- ◆参加費 無 料
- ◆定 員 150名（事前申込み（先着順））
- ◆主 催 京都府
- ◆後援予定 福知山市、舞鶴市、綾部市
- ◆協 力 NPO法人京都発・竹・流域環境ネット、(公社)京都モデルフォレスト協会
- ◆備 考 パネラー(府立海洋高校)等の活動状況のパネル展示を同時開催